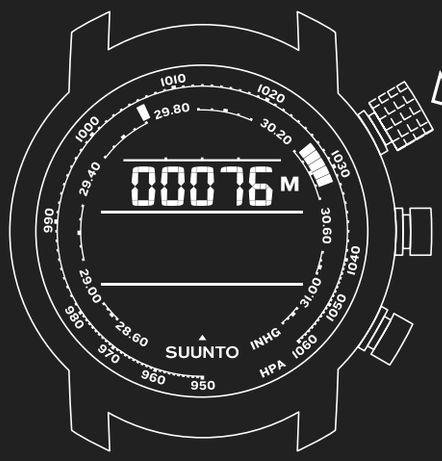
ja

SUUNTO ELEMENTUM TERRA

ユーザガイド

A
B
C
1010
1020
1000
29.80
30.20
29.40
1030
990
30.60
1040
29.00
31.00
980
1050
28.60
970
1060
960
950
REC
M
FT
AM
PM
SUUNTO
INHG
HPA



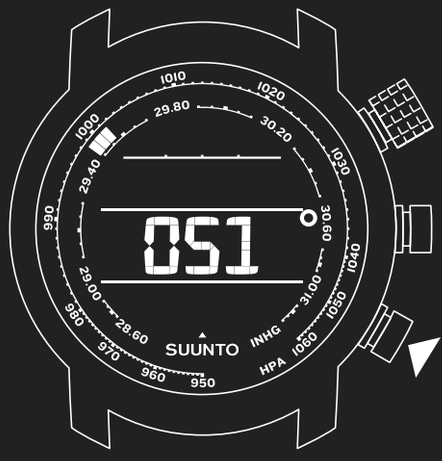
SETTINGS

CHRONOGRAPH / DATE

MEMORY

ALTITUDE RECORDING

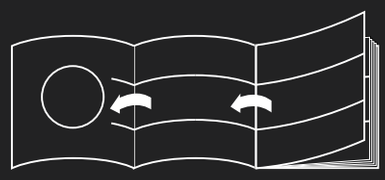
TIME



COMPASS

CALIBRATION

機能:
_時間、日付、アラーム
_バックライト
_高度計
_大気圧傾向
_3D コンパス
_クロノグラフ
_上昇 / 下降の累積距離
_記録: 過去 8 回の上昇 / 下降の最大高度



ja

はじめに

Suunto Elementum Terra をご購入いただき、ありがとうございます。本製品は登山やアウトドアでの活動に最適なデジタルスポーツウォッチです。最初に、次の操作を行ってください。

1. ボタンを押してウォッチをアクティブにします。ボタンはどれでもかまいません。
2. [A] を押し続けると設定画面になります。現在アクティブな設定が画面で点滅します。
3. [A] をまわして値を変更します。
4. [A] を押して変更を確定し、次の設定に進みます。

設定の変更が終了すると、TIME（時間）モードに戻ります。

スントのサポートをすべてご利用いただくために、ご購入された製品の登録を www.suunto.com/register にて行ってください。また、完全なユーザガイドと詳細については www.suunto.com/support をご覧ください。

SETTINGS (設定)

1. **TIME** (時間) モードで [A] を押し続け、**SETTINGS** (設定) に入ります。
2. [A] をまわして値を変更します。
3. [A] を押して確定します。
4. [B] か [C] を押すかまたは [A] を押し続けて設定を終了します。

TIME/ALTITUDE RECORDING (時間/高度記録)

[B] を押して **TIME** (時間) モードと **ALTITUDE RECORDING** (高度記録) モードを切り替えます。

ストップウォッチ (クロノグラフ)

1. **TIME** (時間) モードで、[A] を上に回してストップウォッチと日付を切り替えます。
2. [A] を押すとストップウォッチが開始/停止します。
3. [C] を押し続けると現在の時間がリセットされます。

COMPASS (コンパス)

- コンパスを表示するには [C] を押します。
- [C] を押し続けるとコンパスの校正が開始されます。
- コンパスの校正中は、デバイスを水平に安定させて、回転させます。デバイスが水平でなかったり安定していなかったりした場合は、表示の Level (水平) が点滅します。
- [B] または [C] を押すとコンパスの表示を終了します。

MEMORY (メモリ)

1. **TIME** (時間) モードで [A] をまわし、**MEMORY** (メモリ) に入ります。
2. [A] を上下にまわしてログを閲覧します。
3. [A]を押してログのファーストビューとセカンドビューを切り替えます。
4. [B] または [C] を押すと終了します。

バックライト

[B] を押し続けると、バックライトが点灯します。続けるとバックライトが点灯します。注: 電力を節約するため、**COMPASS** (コンパス) ビュアーでの使用時にはバックライトが点滅します。

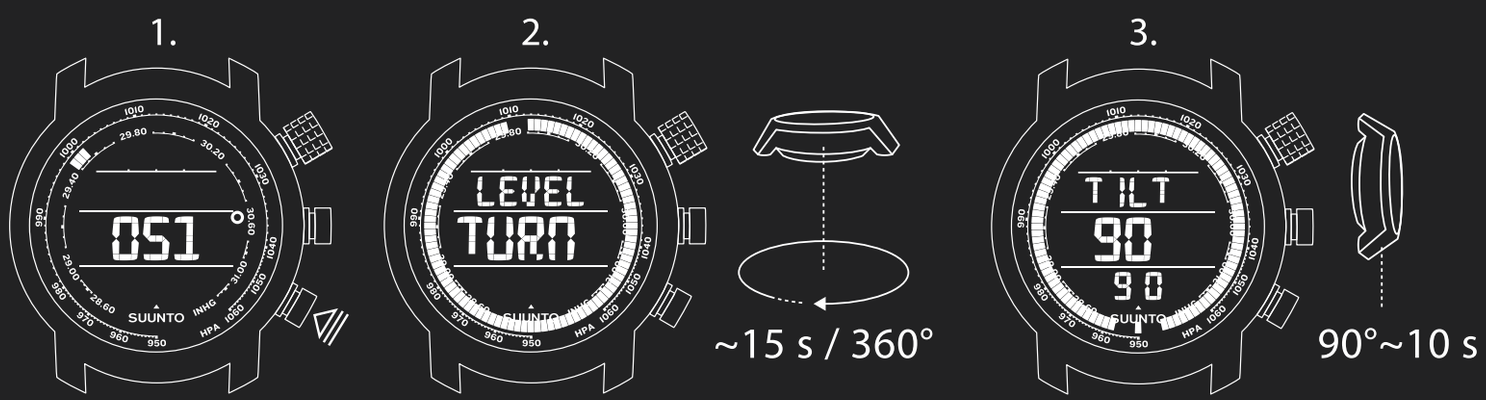
累積上昇/下降の測定

1. **ALTITUDE RECORDING** (高度記録) モードで [A] を押して測定を開始します。
2. [A] をまわして、上昇と下降を切り替えます。
3. [A] を押して測定を停止します。
4. [C] を押し続けると測定がリセットされます。

ボタンのロック

[A] と [B] を同時に押してボタンを口ック/解除します。[A] と [B] を同時に押すとボタンをロック/解除します。

コンパスの較正



1 はじめに 4
1.1 全般設定を変更する 4
1.2 アラームの使用 5
1.3 ボタンロックを使用する 6
1.4 バックライトをアクティブにする 7
2 Suunto Elementum Terraの使用 8
2.1 Time（時間）モード 8
2.1.1 ストップウォッチを使用する 8
2.2 Altitude recording（高度記録）モード 9
2.2.1 高度を記録する 10
2.2.2 高度基準値を設定する 10
2.2.3 累積上昇/下降の測定 11
2.2.4 高度ログを表示する 12
2.3 Compass（コンパス）ビュアー 13
2.3.1 コンパスの校正 13
3 天候を測定する 16
3.1 気圧傾向の矢印 16
3.2 天候の変化を予測する 17
3.3 高度変化と天候変化の測定を自動的に切り替える 17
3.4 一定高度 18
3.5 高度を変える 19
4 手入れとメンテナンス 21
4.1 バッテリーの交換 21
5 仕様 23
5.1 技術仕様 23

5.2 商標 24
5.3 著作権 24
5.4 特許について 24
5.5 デバイスの廃棄 25
6 保証 26
保証期間 27
排除および制限 27
スント保証サービスへのアクセス 28
その他の重要な注意点 29
賠償責任の制限 29

1　はじめに

Suunto Elementum Terraには 2 つのモードがあります。 TIME（時間）モードと ALTITUDE RECORDING（高度記録）モードです。モードを切り替えるには、[B] を押します。

Suunto Elementum Terra は COMPASS（コンパス）ビュアー機能も備えています。[C] を押すと、コンパスがアクティブになります。

TIME（時間）モードでは、普通の時計として機能します。 ALTITUDE RECORDING（高度）モードでは、高度の測定と記録の機能が追加されます。

COMPASS（コンパス）ビュアーは、磁北を基準にして自分の向きをあわせるのに役立ちます。

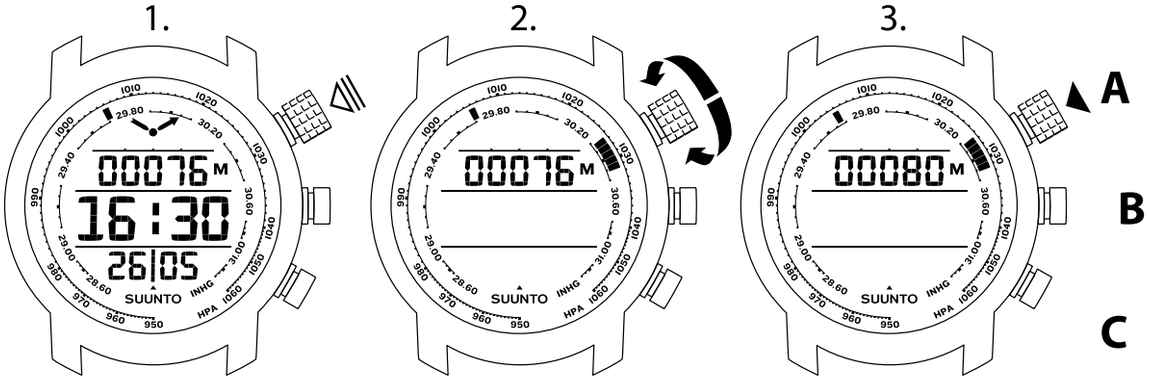
Suunto Elementum Terra の設定は、SETTINGS（設定）で変更します。 高度ログは、MEMORY（メモリ）で表示します。

1.1　全般設定を変更する

全般設定を変更する方法:

1. TIME（時間）モードで [A] を押し続け、SETTINGS（設定）に入ります。アクティブな設定が画面で点滅します。
2. [A] をまわして値を変更します。

3. [A] を押して変更を確定し、次の設定に移動します。
4. 設定の変更が終了すると、TIME（時間）モードに戻ります。



ヒント：［A］を押し続けるか［B］または［C］を押せば、いつでも SETTINGS（設定）を終了することができます。

Suunto Elementum Terra では次の全般設定を変更できます。

- 高度基準値
- アラーム:オン/オフ
- アラーム時間:時間、分
- 時刻表示形式:12 時間/24 時間
- 時刻:時間、分、秒
- 日付表示形式:日/月、または月/日
- 日付： 年、月、日
- 高度表示形式:メートル/フィート

1.2　アラームの使用

アラームのオン/オフとアラーム時間を、SETTINGS（設定）で設定します。アラームがオンの場合、🔔が画面に表示されます。

アラームが鳴ったら、いずれかのボタンを押してアラームをオフにします。アラームは翌日の同じ時間にまた鳴ります。

1.3　ボタンロックを使用する

ボタンロックは、TIME（時間）および ALTITUDE RECORDING（高度記録）モードでアクティブにすることができます。

ボタンロックをアクティブにする方法:

1. ［A］と［B］を同時に押します。ボタンロックがアクティブになると、バックライト以外は機能しません。
2. ボタンロックを解除するには、［A］と［B］を同時に押します。

1.4 バックライトをアクティブにする

バックライトは、両方のモードと COMPASS（コンパス）ビュアーでアクティブにすることができます。[B] を押し続けると、バックライトがアクティブになります。バックライトは 5 秒間アクティブになります。

注： MEMORY（メモリ）または SETTINGS（設定）でバックライトを使用する場合は、それらのモードに入る前にバックライトをアクティブにしておきます。

注： バックライトを多用するとバッテリーの寿命を大きく低下させます。電力を節約するため、COMPASS（コンパス）ビュアーでの使用時にはバックライトが点滅します。

2　SUUNTO ELEMENTUM TERRAの使用

2.1　Time（時間）モード

このデバイスのデフォルトのモードは TIME（時間）モードです。

TIME（時間）モード画面には、次の情報が表示されます。

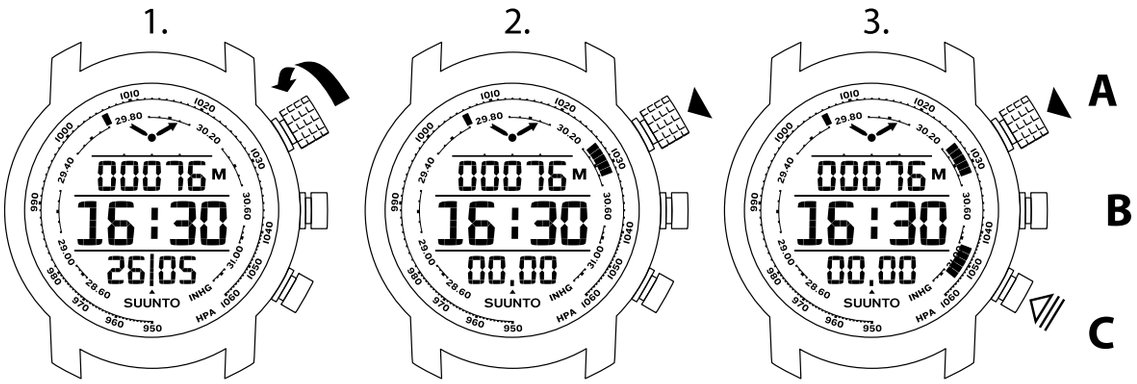
- 現在の高度（最初の行）
- 時間（2 番目の行）
- 日付（3 番目の行）
- 海面気圧（外枠）

2.1.1　ストップウォッチを使用する

Suunto Elementum Terra にはストップウォッチ機能もあります。ストップウォッチを使用する方法:

1. TIME（時間）モードで［A］を上向きにまわし、ストップウォッチ機能に入ります。
2. ［A］を押すとストップウォッチが開始/停止します。
3. 既存のタイムをリセットするには、［C］を押し続けます。

注：　日付が表示されている間にのみ設定に入ることができます。



2.2 Altitude recording（高度記録）モード

ALTITUDE RECORDING（高度記録）モードでは、累積上昇および累積下降を測定し、記録することができます。[B] を押すと、TIME（時間）モードから ALTITUDE RECORDING（高度記録）モードに切り替わります。

[A] を回すと、累積高度表示のプラス（+）と（−）を切り替えます。

ALTITUDE RECORDING（（高度記録）モード画面には、次の情報が表示されます。

- 現在の高度（最初の行
- 累積 高度(2 行目)
- 時間（最後の行)

2.2.1　高度を記録する

ALTITUDE RECORDING（高度記録）モードである場合、または高度測定を記録している場合、ウォッチは 1.5 秒または 10 秒ごとに（垂直方向速度に応じて異なる）高度変化を測定します。

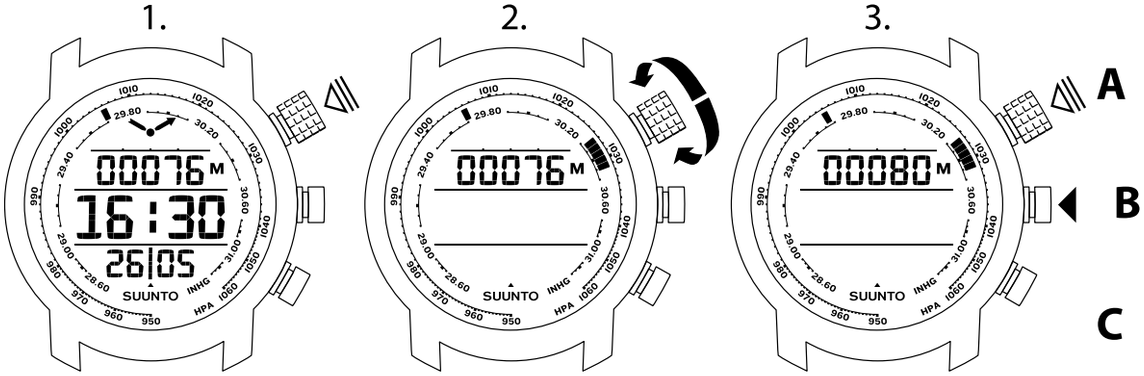
ヒント： 現在の高度変化を確認するにはALTITUDE RECORDING（高度記録）モードを使用します。

2.2.2　高度基準値を設定する

表示される高度の値は大気圧の測定値が基準になっています。 大気圧は天候によって変わるので、天候状態が変わる場合は現在の基準高度のリセット間隔を短くするか、少なくとも出発前にはリセットしておくことをお勧めします。

高度基準値を設定する方法:

1. TIME（時間）モードで［A］を押し続けます。
2. ［A］をまわして高度基準値を変更します。
3. ［A］を押し続けるか［B］または［C］を押して、変更を確定してから終了します。



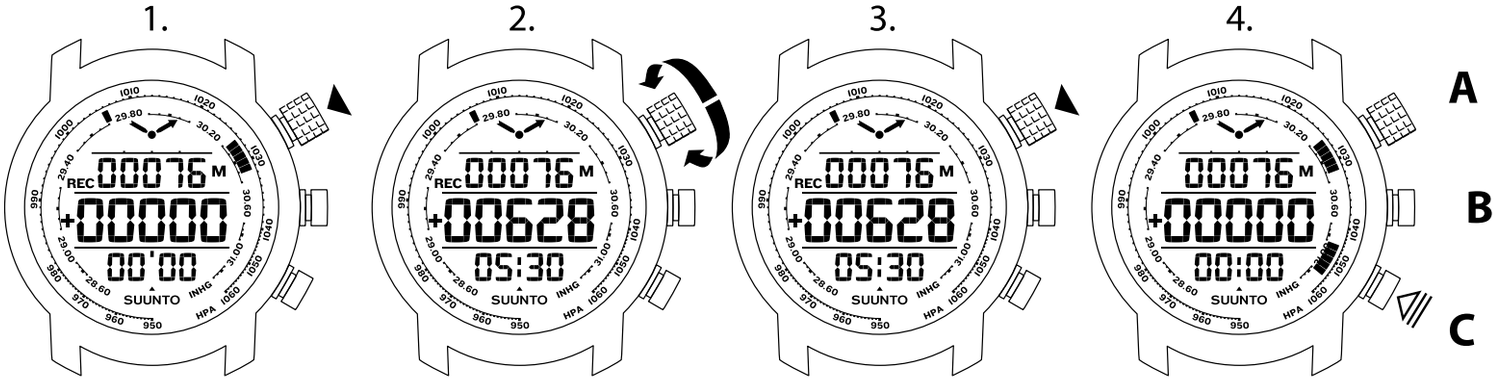
注： 外枠セグメントは、高度の表示値に対応した海面気圧インジケータになっています。

ヒント： 外枠セグメントの海面気圧インジケータを使用して自分の高度を設定してください。

2.2.3 累積上昇/下降の測定

累積上昇/下降は、次の手順で測定します。

1. [A] を押すと測定が開始されます。画面に REC（記録）アイコンが表示されます。
2. [A] をまわして、上昇と下降を切り替えます。
3. [A] を押すと、測定が中止されます。
4. [A] を押し続けると、測定がリセットされます。



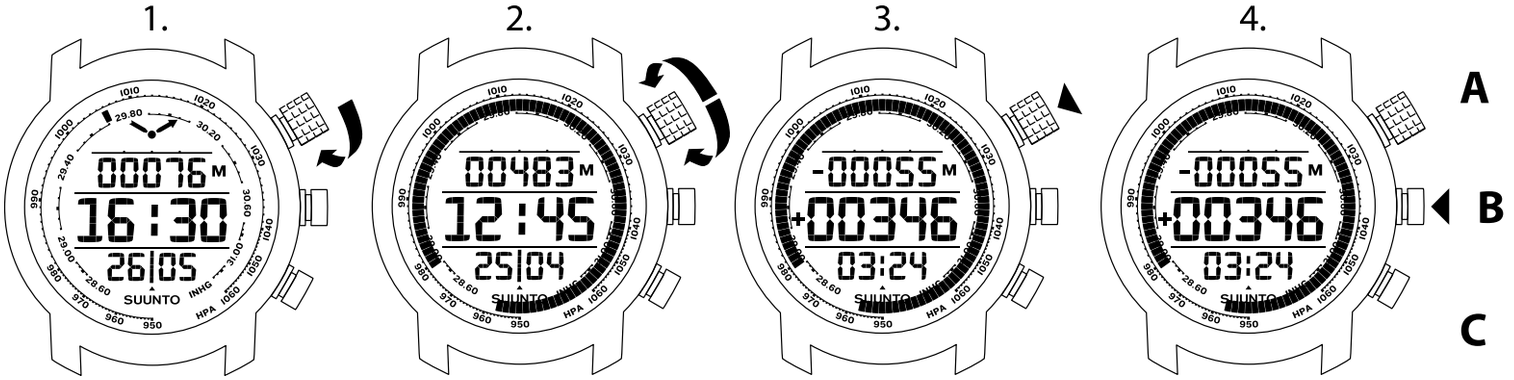
注： ログ時間限度（48 時間）または上昇/下降最大値（19,800m/65,000ft）に達すると測定は自動的に停止し、リセットされます。

注： 正しい高度読み取り値を得るには、定期的に高度基準値を設定することが重要です。

2.2.4　高度ログを表示する

高度ログを表示する方法:

1. TIME（時間）モードで［A］を下向きにまわし、MEMORY（メモリ）に入ります。最新の高度ログが最初に表示されます。
2. ［A］を下向きにまわすと新しいものから古いものの順にログをブラウズします。［A］を上向きにまわすと古いものから新しいものの順にログをブラウズします。
3. ［A］を押すと、ログのファーストビューとセカンドビューが切り替わります。
4. ［B］または［C］を押して MEMORY（メモリ）を終了します。



高度ログに関する情報は、MEMORY（メモリ）に保存されています。 ログごとに独自のメモリスロットがあり、画面の外枠上にセグメントとして表示されます。ログ情報は 2 つのビュアーに分けられています。 最初のビュアー（写真 2）には、次の情報が表示されます。

- 最大高度（最初の行）
- 開始時間（2 番目の行）
- 開始日（3 番目の行）

2 番目のビュアー（写真 3 と 4）には、次の情報が表示されます。

- 累積下降（最初の行）

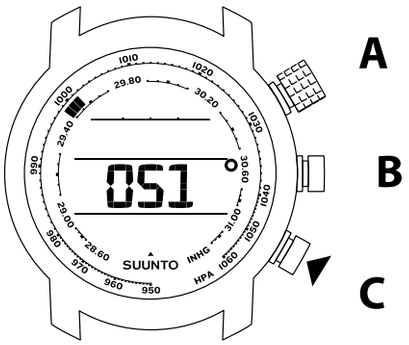
- 累積上昇（2 番目の行）
- 時間（最後の行）

注： メモリ には最大で 8 件のログが保存されます。 メモリに空き容量がなくなると、古いログから順に上書きされます。

2.3 Compass（コンパス）ビュアー

COMPASS（コンパス）ビュアーを使用すると、磁北を基準にして自分の向きをあわせることができます。 Suunto Elementum Terra は傾斜補正コンパスです。つまり、コンパスが傾いていても測定値は変わりません。

1. TIME（時間）または ALTITUDE RECORDING（高度記録） モードで [C] ボタンを押して、COMPASS（コンパス） ビュアーをアクティブにします。
2. [B] または [C] を押すと、COMPASS（コンパス）ビュアーは非アクティブになります。

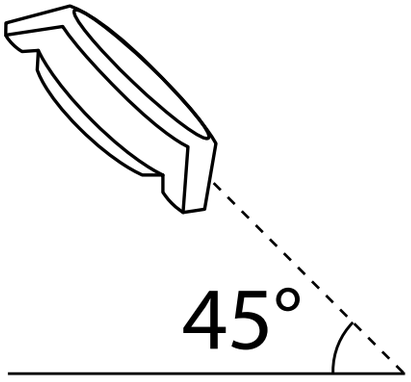


注： COMPASS（コンパス）ビュアーは、60 秒後に自動的に消えます。

2.3.1 コンパスの校正

コンパスの精度を確認するには

COMPASS（コンパス）ビュアーを開き、デバイスを水平に保ったまま画面を上に向けます。 画面を自分の方向に 45° 傾けます。 測定値が 20° 以上変化する場合は、コンパスを校正する必要があります。

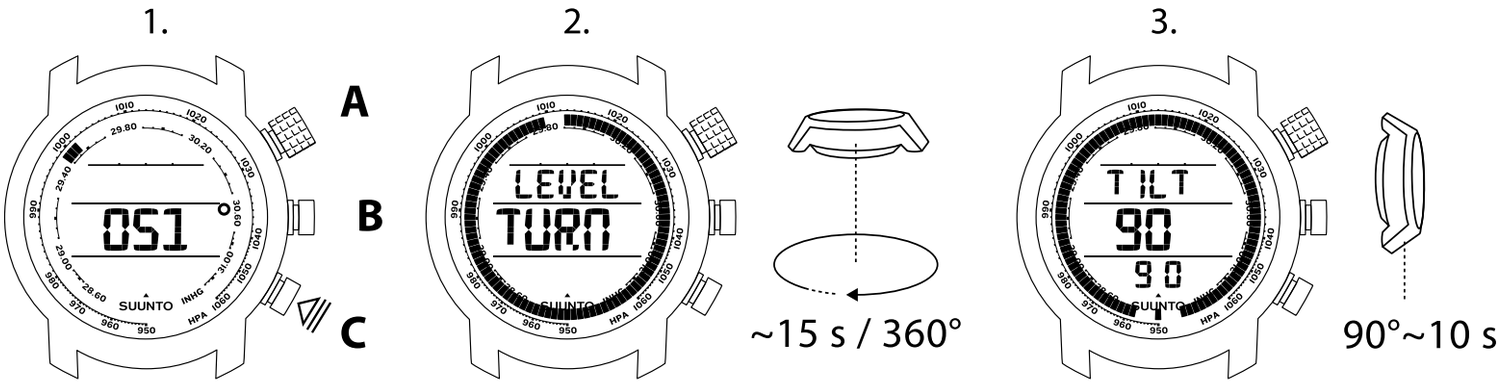


注： 近くに金属や磁場があると正確に校正できませんので注意してください。

校正では 2 つのシーケンスを実行します。 1 つシーケンスが終了するともう 1 つのシーケンスが自動的に実行されるので、説明書をよく読んでから校正を開始してください。

コンパスの校正方法:

1. COMPASS（コンパス）ビューで［C］を押し続けると、校正がアクティブになります。
2. デバイスを水平に保ったまま、画面の外枠セグメントがフルになり確認音が鳴るまでコンパスを回します。 デバイスが水平でない場合は、「LEVEL」という文字が点滅します。
3. レベル校正が正しく完了すると、傾斜校正が自動的に開始されます。
4. 確認音が鳴るまでデバイスを 90° に傾けたままにします。 校正が正常に行われると、「OK」と表示されます。



注： 校正が正常に行われなかった場合は、「FAIL」と表示されます。 失敗した場合は校正をやり直してください。

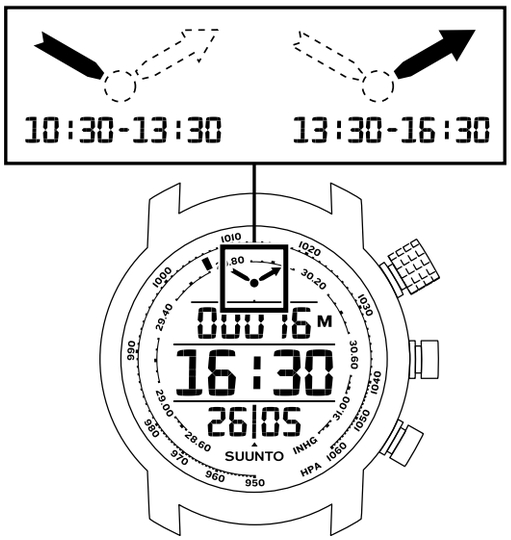
ヒント： デバイスストラップを締め、ストラップの内側に支え用のクッションを取り付け、デバイスが水平になるようにパッケージに入れます。 校正は、非金属製のテーブル上で行ってください。

3　天候を測定する

Suunto Elementum Terra は、常時周辺気圧（絶対気圧）を測定します。この測定と現在の高度から、Suunto Elementum Terra は海面気圧を計算し、画面の外枠にグラフ表示します。海面気圧値を解釈するのがより一般的です。

3.1　気圧傾向の矢印

天候の変化を示すことがほとんどである大幅な気圧の変化は、気圧傾向の矢印で示されます（画面上部の矢印）。気圧傾向の矢印は過去 6 時間の気圧傾向を示します。矢印の左側は過去 6 ～ 3 時間の海面気圧の履歴を示し、右側は過去 3 時間の海面気圧の履歴を示します。



気圧傾向の矢印は 30 分毎に更新されますが、大きな変化（3 時間に 2 hPa 以上）のみが示されます。気圧の測定と海面気圧への変換は毎分行われ、値は毎回外枠に更新されます。

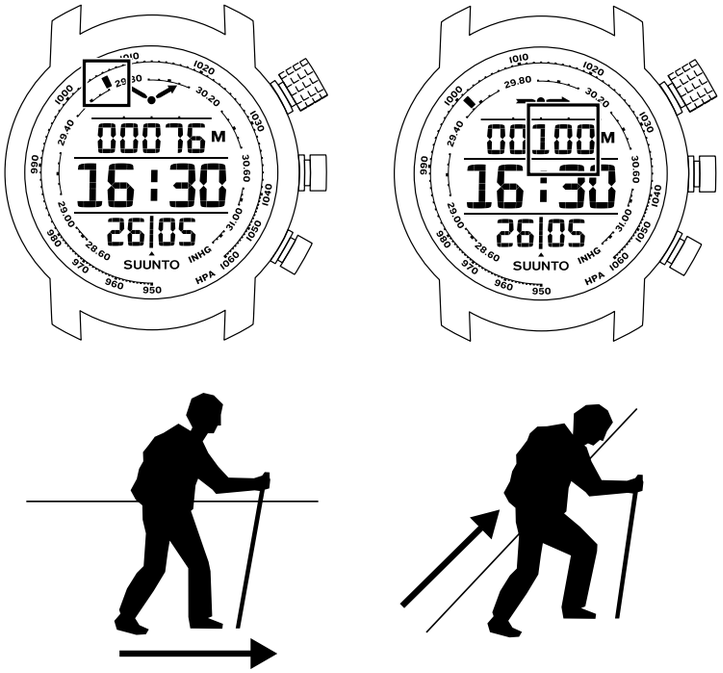
3.2　天候の変化を予測する

平均海面気圧は 1013.25 hPa です。これより高い値は通常よい天気を示し、これより低い値では不安定な天候のことがよくあります。気圧が一定して上昇している場合、よい天気である確率が高くなります。反対に気圧が一定して下降している場合は、悪い天気である確率が高くなります。

3.3　高度変化と天候変化の測定を自動的に切り替える

天候と高度の変化は、どちらも周辺気圧を変化させるので、同時に測定することはできません。Suunto Elementum Terra は垂直移動を検知して、必要に応じて高度の測定に切り替えます。高度の測定に切り替わる際、最新の高度値を表示するまでにかかる最大時間は 59 秒です。高度

が表示されると、最大 10 秒以内に更新されます。自動切り替えの利点は、移動に応じて高度と気圧の測定間をウォッチが自動的に変更するるので、自分で覚えておく必要がないことです。



3.4　一定高度

一定した高度では（12 分間に 5 m 未満の垂直移動）、ウォッチはすべての気圧の変化はすべて天候の変化と解釈します。測定間隔は 1 分です。高度表示が一定している際に天候が変化すると、海面気圧表示に変化が見られます。変化が大きい場合には（3 時間に 2 hPa 以上）気圧傾向の矢印が変化します。

注：高度が一定して天候が早く変化している場合、ウォッチは気圧の変化を高度の変化と解釈して、高度値を変える場合があります。

ユーザー例： 睡眠中の天候の変化

キャンプで一泊し、朝の天候が昨晩より悪化しています。朝、気圧傾向の矢印は水平ですが、外枠に示された海面気圧は低くなっています。そのため、海面気圧が低下したので、今日の天気は昨日ほどよくならないと予測できます。ただし、気圧傾向の矢印は動かなかったので、変化はゆっくりとしたものでした。

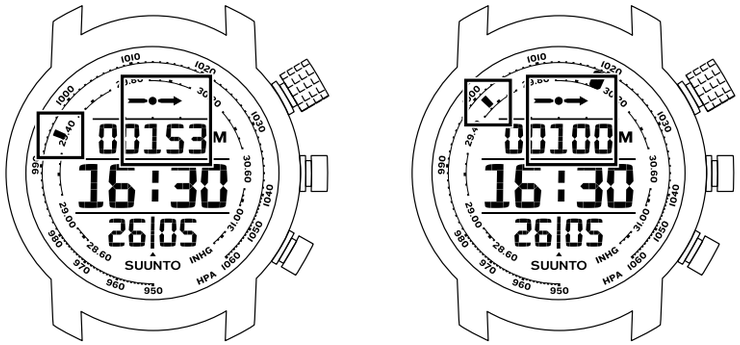
3.5　高度を変える

高度を変えている場合（3 分間に 5 m を超える垂直移動）、ウォッチは気圧の変化はすべて高度の変化と解釈します。測定間隔は垂直方向速度に応じて 1 秒、5 秒または 10 秒です。海面気圧値は一定となり、高度表示は垂直移動に応じて変化します。

注： 高度が 6 時間を越えて測定されると、デバイスは高度の測定中に海面気圧値を変更しないので、気圧傾向の矢印は水平になります。

ユーザー例： 高度値の修正

上り坂をハイキング中、晴れてきました。外枠の海面気圧は上り坂のハイキングを始める前と同じです。地図を基にウォッチに正しい高度を設定しました。正しい海面気圧が計算され、画面の外枠に表示されました。これで値が上昇し、晴れていることを示すようになりました。気圧傾向の矢印はハイキングを始める前から変化ありません。



4　手入れとメンテナンス

装置の取扱にはご注意ください。たたいたり落としたりしてはいけません。
通常の環境では、装置のメンテナンスは必要ありません。使用後はきれいな水と刺激の少ない石鹸で洗い、湿らせた柔らかい布またはセーム革でハウジングを拭きます。
金属製バンドの長さを調節またはバンドの交換を行う場合には、最寄りの販売店にご相談の上、ご自分の手首のサイズに合うようにバンドの長さを調整してもらうようにしてください。

注：　合成洗剤や溶剤は、どんな種類のものも使用しないでください。装置を損なう場合があります。

装置の修理を自分で行わないでください。何らかの修理が必要な場合は、正規のスントサービス、代理店、または販売店にご連絡ください。スント純正アクセサリのみ使用してください。非純正アクセサリの使用による損傷は、保証の対象になりません。
Suunto Elementum Terra は ISO 標準 2281 を基準にテスト済みです。したがって、製品は防水仕様になっています。雨やシャワー、水泳などの一般的な理由で水に濡れても、動作には影響しません。水中でボタンを押すこともできます。

4.1　バッテリーの交換

が表示された場合、または画面が薄くなったり見づらくなった場合は、バッテリーの交換をお勧めします。

注： バッテリーの交換は自分では行わず、販売店で交換を依頼してください。

5　仕様

5.1　技術仕様

全般

- 動作温度:-10° C ～ +60° C/-2° F ～ +140° F
- 保管温度:-30 ℃ ～ +60° C/-22° F ～ +140° F
- 耐水性能:100 m / 300 ft （ISO 6425 準拠）
- 傷防止サフィア結晶
- バッテリー型番:CR 2032
- バッテリー寿命:通常使用状態で約 9 ヶ月（シリアル番号が 00403092 未満）または 1 年（シリアル番号が 00403092 以降）

高度計

- 表示範囲:-500 m ～ 9000 m/-1640 ft ～ 29527 ft
- 表示精度:1m/3ft
- 最大メモリログカウント: 8

気圧計

- 表示範囲:950 ～ 1,060hPa/28.60 ～ 31.30inHg
- 表示精度:1hPa/0.03inHg

コンパス

- 表示精度:1°
- 最大傾斜角 45°

5.2　商標

Suunto Elementum Terra、そのロゴ、およびその他のスントブランド商標および製品名は、Suunto Oy の登録商標または未登録商標です。無断での転載を禁じます。

5.3　著作権

Copyright © Suunto Oy 2008. All rights reserved.スント、スント製品の名称、そのロゴ、およびその他のスントブランド商標および製品名は、Suunto Oy の登録商標または未登録商標です。本ドキュメントおよびそのコンテンツは Suunto Oy が所有権を有するものであり、顧客がスント製品の操作における知識と情報取得のために使用することのみを目的としています。そのコンテンツは、Suunto Oy より事前に書面での承諾を得ることなくその他の目的のために使用または配布したり、その他の方法で伝達、開示、複写することはできません。

本文書に含まれる情報が包括的かつ正確であるように十分注意していますが、内容の正確性については明示的にも暗示的にも保証するものではありません。本ドキュメントの内容は、いつでも通知なく変更されることがあります。本文書の最新版は、www.suunto.com からダウンロードできます。

5.4　特許について

本製品は、出願中の特許 US 12/153505 により保護されています。 他の特許も申請されています。

5.5　デバイスの廃棄

デバイスは、家電廃棄物として扱い、適切な方法で廃棄してください。通常のゴミとして処分してはいけません。ご希望の場合は、お近くのスント担当者にデバイスを返却することもできます。

6　保証

スントによる保証は、リストトップコンピュータ、ダイビングコンピュータ、精密機器、ウォッチ、マリンコンパス、およびフィールドコンパスに限定されます。

本限定保証は、2008 年 1 月 1 日より有効です。

スントは、保証期間内において、スントまたはスント認定サービスセンター（以後「サービスセンター」）により、その独自の判断で、素材または作業における不具合の修正を無料で行うことを保証します。その内容は、本限定保証の条件に従って、a）製品または部品の修理、b）製品または部品の交換、あるいはc）製品購入価格の払い戻しのいずれかです。消費者製品の販売に関する該当する国内法で保証された法的権利は、本限定保証により影響されません。

本限定保証は、ユーザーが製品を購入した国でのみ、スントがその国で製品を販売している場合に限り有効で、適用されます。ただし、欧州連合加盟国、アイスランド、ノルウェー、スイス、またはトルコで製品を購入し、スントがこれら各国のいずれかにおいてその製品を販売している場合は、これらすべての国で本限定保証は有効であり、適用されます。保証サービスは、製品に関するその国独自の要素により限定される場合があります。

欧州連合、アイスランド、ノルウェー、スイス、およびトルコ以外の国では、輸送費用がかかりスントまたはサービスセンターが負担した場合のサービス料金および補償を支払うことが合意されていれば、ユーザーは製品を購入した国以外の国で保証サービスを受けることができます。

保証期間

保証期間は、当初購入者であるエンドユーザーが製品を購入した日から開始します。保証期間は、購入した製品により異なり、次のようになります。

a. リストトップコンピュータ、ダイビングコンピュータ、精密機器およびウォッチについては、2 年間

b. マリンコンパスについては 10 年間

c. フィールドコンパスについては制限付きの生涯保証

充電式バッテリー、充電器、ドッキングステーション、ストラップ、ケーブル、およびホースを含みこれらに限らないすべての製品の消耗部品およびアクセサリに関する保証期間は、パッケージに含まれているものも個別に購入したものも、1 年です。

該当する国内法の範囲で、保証期間は、再販やスント認定の修理、または製品の交換によって延長または更新その他の影響を受けません。ただし、保証期間内に修理または交換された部品は、当初の保証期間の残り、または修理または交換された日から 3 カ月のいずれか長い方の期間、保証されます。

排除および制限

本限定保証には、次は対象として含まれません。

1. a）通常の摩耗、損傷、b）乱暴な扱いによる不具合（鋭利なものによる損傷、折り曲げ、圧迫、落下など）、c）製品の誤用または指示に反する使用による不具合および損傷
2. 取扱説明書または製品に付属したりスントハードウェアと共に販売されるサードパーティによるソフトウェア、設定、コンテンツまたはデータ。製品に含まれるものもダウンロードされたものも含み、

また設置、組立て、納品または輸送段階のいずれの時点で得られたものも、いかなる手段で得られたものも含む。
3. 製品が、スント以外により製造または提供された何らかの製品、アクセサリ、ソフトウェア、サービスと共に使用または接続されたために発生した、または使用目的以外の方法で使用されたために発生した不具合または不具合の疑い
4. 交換可能なバッテリー

本限定保証は、次の場合は適用されません。

1. 製品がスントまたはサービスセンターの担当者以外により開封、変更、修理された場合
2. 製品が認定されていない部品を使用して修理された場合
3. 製品のシリアル番号が削除、消滅、損傷、改変された場合、または何らかの方法で判読困難にされている場合。スント独自の裁量により判断。
4. 製品が防蚊剤を含みただしこれに限定されない化学製品の影響を受けた場合

スントは、製品の運用が途切れず、エラーがないことを保証するものではありません。また、サードパーティが提供するあらゆるハードウェアまたはソフトウェアと共に製品が動作することも保証しません。

スント保証サービスへのアクセス

www.suunto.com/customer service で、忘れずに製品の登録を行ってください。領収書や登録カードも保存してください。スント保証サービスを利用する場合、これらの文書が必要になる場合があります。

保証サービスを依頼する前に、www.suunto.com にあるオンラインヘルプにアクセスして調査するか、製品の取扱説明書を参照してください。

本限定保証による請求が必要であると思われる場合は、www.suunto.comからスントサービスリクエストを通じてリストトップコンピュータを返送するか、お近くのスント認定販売店にご連絡ください。 本限定保証が対象とするその他の製品については、お近くのスント認定販売店にご連絡ください。連絡先については、スントのホームページwww.suunto.com にアクセスするか、スントヘルプデスク +358 2 284 1160（国内料金またはプレミアム料金適用）に連絡して、詳しい情報と、製品を保証サービスに持ち込む方法をお問い合わせください。製品をお近くのスント認定販売店まで郵送する場合は、料金先払いでお送りくださるようお願いいたします。

その他の重要な注意点

製品に保存された大切なコンテンツおよびデータはすべて、バックアップコピーを保存してください。コンテンツやデータは製品の修理または交換時に失われる場合があります。スントまたはサービスセンターは、製品の修理または交換時のコンテンツまたはデータの消失、損傷、または破損に起因するいかなる損害または損失についても責任を負いません。

製品または部品を交換する場合は、交換されたものはすべてスントの所有になります。返金される場合、返金対象の製品はスントやサービスセンターの所有物になるため、サービスセンターに必ず返却してください。

賠償責任の制限

該当する国内法が適用される範囲で、本限定保証は唯一かつ排他的な救済であり、明示的であれ暗示的であれ他の保証すべてに代わるものです。スントは、予想された利益の損失、貯蓄または売上の損失、データの消失、懲罰的損害賠償、製品または関連する機器の使用不可、資本コ

スト、何らかの代用機器または施設費用、ダウンタイム、顧客を含む第三者の請求権、および所有物への損害を含み、ただしこれに限らない、特殊な、付随的な、懲罰的な、または間接的な損害について、製品の購入または使用、保証の不履行、契約の不履行、怠慢、厳密な意味での不法行為、またはその他の法的または同等の理論に起因する場合、スントがそのような損害の可能性を認識していた場合でも、責任を負わないものとします。スントは、限定保証対象のサービス提供による遅延、または製品修理中の使用不可時間について、責任を負わないものとします。

SUUNTO CUSTOMER SUPPORT

1. **www.suunto.com/support**
   www.suunto.com/mysuunto

2. **support@suunto.com**

3.

AUSTRALIA	**+61 1800 240 498**
AUSTRIA	**+43 720 883 104**
CANADA	**+1 800 267 7506**
FINLAND	**+358 9 4245 0127**
FRANCE	**+33 4 81 68 09 26**
GERMANY	**+49 89 3803 8778**
ITALY	**+39 02 9475 1965**
JAPAN	**+81 3 4520 9417**
NETHERLANDS	**+31 1 0713 7269**
NEW ZEALAND	**+64 9887 5223**
RUSSIA	**+7 499 918 7148**
SPAIN	**+34 91 11 43 175**
SWEDEN	**+46 8 5250 0730**
SWITZERLAND	**+41 44 580 9988**
UK	**+44 20 3608 0534**
USA	**+1 855 258 0900**

SUUNTO

© Suunto Oy 6/2010, 9/2014
Suunto is a registered trademark of Suunto Oy.
All Rights reserved.